

みどりの授業レポート (小学部高学年Bグループ)

10月11日(木)、生活単元学習で、1学期に学習した「生きものの生長」に関連する学習として、東京海上日動主催の、「みどりの授業」を受講しました。以下、先方から提供いただいた映像とともに、当日の様子を紹介します。



「みなさんは、マングローブって聞いたことがありますか？」の質問に、腕組みする子供たち。「実は左のスライドにある植物(水-陸間に生える植物)、全部がマングローブなんです。」という発見から授業がスタートしました。

マングローブができること
① ちきゅうおんだんかをおさえる
② いのちのゆりかご
③ みどりをまもる
④ にんげんのせいかつをたすける

2. マングローブのやくわり

続いて、「地球に起こっている問題と、自分たちができること」というテーマでの学習です。ここでは、「地球の温暖化」という内容を、今年の夏を振り返りながら学びました。少しずつ暖かくなっていく地球。マングローブは、この原因となる二酸化炭素を

吸って(吸収して)くれる。また、その根は洪水や陸地から水辺への土砂の流れをせき止めるなど、様々な大切な役割があることの紹介がありました。

そして、わたしたちにできる最も大切なことは、「地球にやさしい生活をする。」と教えてもらいました。学習グループでも、実践します。